

# ■ ■ ■ 事 業 報 告 書 ■ ■ ■

	<p>事業名：区民企画型講座 全4回      「学び講座 自分たちで企画運営スキルアップ」      ～地域でやりたいことをカタチにする！～</p>
<p>開催日時：10月23日（水）      11月6日（水）・11月23日（水）      12月4日（水） 10時～12時</p>	<p>【内容】      第1回：地域を知ろう！ お互いを知ろう！      第2回：講座づくりについて テーマ決め      第3回：講座の流れづくり チラシづくり（講義）      第4回：さあ！講座に向けて本格準備 講座内容の確認</p>
<p>参加費：無料</p> <p>参加対象者：企画運営に携われる方</p> <p>開催場所：講座は研修室1      託児は研修室2</p>	<p>参加者数：5名      • 男性1名      • 女性1名      • 託児希望の保護者（女性）3名</p> <p>一時託児保育付き      ヨコハマインターブレス保育サポート      各回2名</p>

## 第1回目講座：10月23日

1. 受講者の顔合わせ
2. 講座の趣旨説明
3. お互いを知る。中区を知る。グループワーク

### ワーク内容

- 地域で活動するためのコツ
- 中区のことを知っている？ 地図をかいてみよう！
- 中区と言えば？ 地域性や観光スポットなど
- 中区のオススメの店を教えて
- 今後どのような講座をしてみたいですか？



▲グループワークの様子▲

一時託児の様子▲

## 第3回目講座：11月23日

1. 地域振興課職員木下さんを講師に迎え講義
- スクリーンに資料を表示し説明。

自身が重要だと思った箇所は、メモをして欲しいとの思いから、あえて資料をお渡しせずに講座を開催。途中から、イラストでの説明が写し出されたときは受講者からスマートフォンで撮影をしても良いか？と質問され、スマートフォンで必要なスライドを撮影し、メモを取りながら、熱心な受講者たちでした。

受講者を巻き込みながら考え方を答えさせる場面や、うなずきたくなるような説明内容で楽しく学べる素晴らしい講座でした。

また、実践講座の内容を第2回講座時に確定しており、チラシの枠づくりも受講者自身で完成しました。



夕手呼  
い作り受  
トリか講  
動け者  
画るの  
か木名  
ら下前  
氏を



▲一時託児の様子

## 第2回目講座：11月6日

1. 第1回目のふりかえり  
再度、趣旨説明を行う
  2. グループワーク
- ワーク内容
- 今、自分が学びたいことは？
  - 具体的に実践講座につなげてみる
  - テーマを決めてみる
  - 対象を決める



▲グループワークの様子



▲一時託児の様子

### 受講者から、実践講座の日程厳しいのは？

当初の予定では、2月下旬に、なか区民活動センター研修室1・2を地域振興課で予約していたが、チラシの作成や準備がギリギリだと不安なので3月にした方が良いのではないか？と提案がありました。

部屋の空き状況など調整した結果、

令和7年3月5日（水）に実践講座決定

## 第4回目講座：12月4日

1. 協力してくださる横浜つみきの方と直接、顔を合わせて打合せ
- 短い時間でしたが、対面での話し合いは有意義です。当日の担当決めの話し合いも行いました。

### 受講者から、実践講座後にもう一回集まりたいと希望

令和7年3月17日に決定



広子  
範ど  
園も  
時に  
た託  
遊び  
もの  
慣ま  
れ子

# 区民企画型講座

## 全4回を終えて

当初は7名、一時託児5名の予定でした。が、保育園やお仕事が決まったとのことでキャンセルがでてしまい、講座の運営など変更点がでました。

5名の受講者でスタートです。一時託児を希望されている保護者3名は、子育て中という共通点があったと思いますが、年代や生活環境などが違うメンバーです。

話し合いでは、自分の意見出しが多いのではないかと気遣う場面や、他者への意見を促す場面など、和気あいあいと話しながらも本題である実践講座を着実に決定してきました。  
実践講座は、中区元町に教室を運営している「横浜つみき」という、精密な積み木を扱っているところに協力をいただきました。

講座名やキャッチコピーは、全員で提案し、多数決で決めるなど決める方法もメンバーで提案しながら進め、決定しました。

### 実践講座名：大人のつみき時間

### 実践講座（キャッチコピー）：壊すの一瞬 作るの一生

お互いを知る時間を設け、積み木に触れ一体となります。  
作品をつくり、皆で壊します。単純でありながら人とのふれあいや集中時間を楽しめます。

### 実践講座を決めるにあたり、話し合った内容

1. 単純な内容。複雑だとわかりにくい。
2. リハビリ中や障害者の人でも参加できるようなインクルーシブな内容
3. 非日常時間が楽しめる
4. 参加者とつながれると良い
5. 企業との連携もできると良い

受講者5名の意見をすべて汲み取った内容が今回の実践講座です。

実践講座の案内は令和7年1月中旬に、なか区民活動センターのホームページに掲載いたします。

## 想定外のこと二つ

① 実践講座を開催するにあたり、当初は、2月に予定していました。受講者から、少し余裕を持ちたい、その方が、準備に時間をかけられるとの意見があり、当初の日程よりずらす形となりました。自ら考え、発言し、同意を求め調整する力に驚きました。

② 4回目の最終講座を終える時に、実践講座後は、後片付けなどで慌ただしく、今回の受講者同士で話す時間がないと想定できる。実践講座後に再度集まらないかと提案がありました。

再度集まる日程をその場で確定しました。自らの想いを言葉にし、行動する力に主催者として、連帯感が生まれたと嬉しく思います。

